SPORTS スポーツコーナー

教育委員会 ☎46-5576

町内スポ少大活躍！

長島・平泉バレースポ少が県大会に出場

めんこいテレビ杯小学生大会

第20回めんこいテレビ杯小学生バレーボール大会一関地区予選が1月22日、一関市で開催され、当町の長島バレースポ少が大活躍しました。

予選リーグ、準決勝を勝ち上がった同チームは、決勝で一関Vアタッカーズと対戦。惜しくも0－2で敗れましたが、準優勝を勝ち取りました。

また平泉バレースポ少チームも5位で地区代表となりました。

両スポ少の県大会でのさらなる活躍が期待されます。

準優勝した長島バレースポ少チーム

平泉バレースポ少が男女で準優勝

佐々木製菓杯バレーボール大会

第18回佐々木製菓杯一関地方小学生バレーボール大会が2月6日、町内小中学校体育館で開催され、当町の平泉バレースポ少が男子の部、女子の部でそれぞれ準優勝と大活躍しました。

同男子チームは、リーグ戦で3チームと対戦。最終戦では、長島バレーボーイズとの接戦を制し、2勝1敗で準優勝を果たしました。

同女子チームは、予選リーグを1位で通過。準決勝で弥栄フェニックスに2－0で勝利。決勝では一関Vアタッカーズと対戦し0－2で惜しくも敗れ準優勝となりました。

準優勝した平泉バレースポ少女子チーム

平泉FCが準優勝

NECカップフットサル大会

NECカップフットサル大会（一関サッカー協会主催）が2月6日、東山総合体育館で開催され、当町の平泉FCを含む12チームが出場しました。

予選リーグを無失点1位で通過した同チームは、準決勝で攻守の切り替えに勝る一関南FCに2－0で快勝。決勝では、FCカワサキと対戦し、主力を負傷で1人欠く中、前半早々にセットプレーから失点。相手チームの早いパスワークに翻弄され0－3で敗れ準優勝となりました。

大会優秀選手に選ばれた千葉快さん（平泉小6年）は「中学校では県大会優勝を目指して頑張りたい」と抱負を語ってくれました。

準優勝した平泉ＦＣのメンバー

ラ・ミュウ平泉が優勝！

インアーチフットサル大会

第5回インアーチ選手権いちのせきフットサル大会（いちのせき市民活動促進会議インアーチ主催）が2月20日、一関市総合体育館で開催され、当町から参加したラ・ミュウ平泉が優勝の快挙を成し遂げました。

一関・平泉町からレディースの部に5チームが参加。総当たりのリーグ戦で同チームは、全試合、チームワークの良さと巧みなパスワークで相手ゴールに迫り他チームを圧倒。3勝1分けで優勝を果たしました。

同チームは現在部員を募集しています。興味のある方は、気軽に練習にご参加ください。

◎活動日時など

▽毎週金19～21時長島体育館

▽毎週日15～17時長島小体育館

優勝したラ・ミュウ平泉のメンバー

スポーツ安全保険に加入しませんか？

スポーツ中にけが以外にも、人や物へ損害を与えるという事態も考えられます。組織で保険に加入し、万が一の場合のトラブルを防ぐことも安全対策の一つといえます。

スポーツ団体の多くが利用している保険の一つに、財団法人スポーツ安全協会の「スポーツ安全保険」があります。

全国の約90％が加入している保険で、少年団に限らず、アマチュアのスポーツ活動、子ども会、文化活動、ボランティア活動を行う団体も加入できます。

団体の構成員が５人以上であれば加入でき、「傷害保険」と「賠償責任保険」を一括契約できます。一人当たり年額500円からの比較的安価な掛け金で加入でき、十分な保障を得られる保険です。

詳しくは、教育委員会に資料、パンフレットがありますのでお問い合わせください。

◎問い合わせ先…㈶スポーツ安全協会岩手支部

☎019-648-0400

学校だより

平泉小学校 ☎46-2202
長島小学校 ☎46-2203
平泉中学校 ☎46-2205

長島小学校

防火の誓いを胸に 少年消防クラブ退団式

2月17日、長島少年消防クラブの退団式が行われました。

少年消防クラブの活動は、地域の皆さんと一緒の「火の用心」の防火パトロール活動（8分団・9分団）のほかに、総合防災センターの見学（4年）や避難所生活体験、文化財防火分列行進参加（6年）などです。

当日は、多くのご来賓の方々に、6年生19人の退団を見守っていただきました。

団長の千葉奨平さん（6年）は、退団のあいさつの中で「平泉の大切な文化財や家族の大切な思い出などを火事でなくさないようにしたい」と新たな決意を述べ、新団長の菊地裕人さん（5年）に団旗を引き継ぎました。

最後に、合奏団による退団記念演奏が行われ、堂々と演奏する6年生の姿を、目に焼き付けるようにじっと見つめる下学年の姿がありました。

６年生最後のステージ、退団記念演奏

平泉小学校

よりよい児童会目指して ～?から！へ～

2月10日に22年度の児童会活動を振り返る「児童会総会」が開かれました。

いつも通りに話し合いが進み、総会が終わりに近づいたとき、ある6年生が発言しました。「執行部や委員会の活動は毎年やっていることなのに、目標が守れず同じ反省が出るのは、おかしい」別の6年生も発言しました。「一人ひとりが話し合いに本気で参加していないのではないか」「よりよくしようという気持ちが少ないのではないか」。

会場には、何となく重苦しい空気が漂いましたが、勇気を持った何人かの手が挙がりました。「ちゃんと意見を持っているけれど、はずかしくて発言できない」「大勢の前で話すのは、反対されそうでこわい。でも、一人ひとりがやらなければならないと思う」。

この後、自分の考えを発言しようとする人が続々と出てきて、マイクの前に長い列ができました。大事なことは「自分の考えをみんなに話すこと」「みんなで学校をよりよくしようと本気になること」「一人ひとりが気付いて行動を起こすこと」。

これらを心に刻み、新年度に向けて一人ひとりが意識して頑張ることを確認する総会になりました。

自分の考えを発言する児童たち

平泉中学校

思いを込めての舞納め

やわらかな春の陽ざしが差し込む毛越寺本堂で2月13日、神楽の舞納めが行われました。

この1年間、2・3年生男女17人が選択教科で毎週1回、計30回の練習を重ねてきました。その総仕上げとしてご本尊薬師様の前で奉納させていただきました。

3年生にとっては、2年間ご指導いただいた達谷窟毘沙門神楽の照井先生と佐藤先生に感謝を込めて精一杯舞いました。この1年間、東京タワーでの平泉アピール活動にはじまり、春の藤原まつり、町神楽大会、町芸術文化祭と大きな発表の機会を頂く中で上達することができました。

2年生にとっては、文化祭がデビューでしたが、芸術文化祭と舞納めでは、成長した姿を見せることができました。

舞納めの後、3年生から2年生に扇子を手渡す引き継ぎ式も行いました。リーダーの菅原奏さんは「2年生の時は、うまく踊れませんでしたが、いろいろな発表の機会を通してみんながうまくなっていったのが、うれしかったです。平泉の世界遺産登録に少しでも貢献できるようにみんなで頑張りました。大変ですが、2年生にはずっと続けてほしいと思います」と話し、愛着ある扇子を後輩に引き継ぎました。薬師様も「頑張ったね」とほほ笑んでいるように見えたひとときでした。

舞を奉納した平中生